

# 離乳食について

日中の機嫌がよく赤ちゃんの消化吸収が良いとされる10時頃と14時頃の2回園で離乳食を食べています。子ども一人ひとりの食べ方に合わせて食材の形態をすり潰したり、きざんだり、コロコロ状の角切りにしたりと変化させながら乳児食へと勧めていけるようにしています。



0歳児は授乳期から離乳期に移行する大切な時期です。初めての離乳食に進め方や作り方の疑問、食べ方の悩みを持つ保護者の声がありました。離乳食を安心して進める事ができるように、栄養士を交えた離乳食ガイダンスや、保育参加を行いました。保育参加では、保育園の食事をお家の方に見てもらったり、実際にお子さんに食べさせてもらいながら、和やかな雰囲気の中進めることができました。また、玄関にその日の食事や離乳食の見本食を掲示しています。



## 離乳食



初期食

中期食

後期食

完了食

## 乳幼児の食物アレルギー対応として、保護者、看護師、保育士とともに対応の仕方を共通確認し、安心して食事ができるようにしています。



栄養士  
島貴可奈子さん

離乳食は、生まれてからミルクや母乳しか飲んでいない赤ちゃんが初めて食べる食事です。東部保育園では、離乳食をととても大切にしており、一人ひとりの成長に合わせた離乳食を提供しています。だし汁の旨味を利用し、薄味を基本としています。これからも、子どもたちの健やかな成長に寄り添った給食提供を続けていきます。



看護師  
永井 裕子さん

離乳食を安心・安全に進めていただけるように、お子さんの発育状況やアレルギー症状の有無などについて、担任や栄養士と情報共有しながら必要に応じて対応しています。



園庭には、四季の移り変わりを感じることができる自然や50メートル走をすることができるほどの広さなど恵まれた環境があります。その中で子どもたちは、自然に触れ体を動かしてのびのびと遊び、心も体もすくすくと成長しています。第24号は、そんな園庭や子ども様子をご覧くださいと思います。これからも子どもたちが、自然に触れ、体を十分使い遊べる環境をつくっていききたいと思います。

# みんなのもうひとつのおうち

No.24  
2023.3.1

## 興道東部保育園

米沢市下花沢3丁目10番9号  
TEL 0238-23-6624



公式サイト



園長 あいさつ

「最後の砦」として  
昨年、全国でコロナ感染に伴う休園が相次ぐ中、テレビである言葉を目にしました。「保育所は社会の最後の砦である」。この時、当園に赴任する前の出来事が思い出されました。「ほく強くなって色んなものをやっつけた、どうしたら強くなるの？」と、私に尋ねる子がいました。私は、その子に私が好きなワンピースの一場面を伝えました。  
ある砂漠の国に鳥（ハヤブサ）の戦士がいました。国を守るその戦士に幼い王女様は聞きました。「なぜ毎日訓練をするの？誰を倒すの？」そしてこう答えました。「倒すのではなく守るのです。大切な人を」。ある日、悪者が国に時限爆弾を仕掛けました。これでは国全部が吹き飛ばしてしまいます。慌てる王女様の前で鳥の戦士は、ニコッと微笑みその爆弾を足で持ち高く飛んでいきました。やがて空の上で爆弾が爆発し戦士は粉々に消えていきました。戦士は見事に国を守りました。  
「本当の強さは大切な人を守ることだよ」と、その子に伝えると「かっこいい！」と目を輝かせました。そして「ほく強」になりました。  
「ほく強はお母さんを守りたいな」「母と二人で過ごしてきたその子の言葉から暖かい絆を感じました。お迎えの時この出来事をお伝えすると、照れくさそうに笑うお母さんの目が赤くなっていたことを覚えていました。  
当園で勤務してきた4年間、次のような職員みんなの姿がありました。「感染の不安を押し殺して密を避けられない保育園に笑顔で出勤する姿・思うような活動ができず悔しがる姿・何とか子ども達に思い出を残してあげたいと苦しむ姿」それはまさしく「最後の砦」として身を削る姿であり園長として誇りに感じた姿でした。この苦悩してきた私達の経験はきっと今後活かされ子ども達の明るい未来に繋がるはず、そう心から信じています。

園長 藤戸 孝司



# 春

桜の花びらに手が届かな



ふ～



あともうちょっと



保育園の竹林

どっちが大きいかな？



# 夏

消雪... 夏も大活躍



じゃぶじゃぶ池



ミストシャワー



すべり台がウォータースライダーに大変身！



タイヤブランコ



ボルダリング



ロープブランコ



# 冬

保育者と一緒に



雪山ソリ



きもちい～



いちごアイスできあがり



色水あそび

うわあー!!



## 「とろろほいくえんの えんていはたのしゆ!!!」

東部保育園の園庭は、子どもたちがあそぶにはとっても広く、天気の良い日は0歳児から5歳児が園庭であそんでいます。春夏秋冬の季節に合わせた体験やあそびを通し、子どもたちの素敵な笑顔や時には悔しい葛藤の涙も見られます。様々な体験をして子どもたちは心と体が成長していきます。その姿を私たちは一緒に共感していきたいと思います。

みんな大好きソリあそび



姫リンゴ



焼きイモ作り



まだかな～？



# 秋

お兄ちゃんお姉ちゃん頑張れ～!



白熱親子リレー

運動会



お兄ちゃん大丈夫？



負けて悔しい...



育てたサツマイモ大収穫!



タイヤ階段